

項目	内容
1. 国内	(1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和8年4月末実施)によると、「3月の処理出荷推計実績は処理羽数が前年同月比98.0%、処理重量は同100.7%。処理羽数は前年割れとなったものの、処理重量は前年を上回った。今冬は、全国の産地より例年になく育成が順調であったという声が多く聞かれており、出荷体重にもその結果が表れているようだ。日本食鳥協会では、4月の予測を処理羽数が前年同月比4.3%、処理重量を4.7%それぞれ減少と予測。また、5月の予測処理羽数4.9%、処理重量3.8%それぞれ減少、6月は処理羽数0.9%、処理重量1.1%それぞれ減少と、3カ月連続で処理羽数、重量共に前年同月を下回る予測となっている。」と報告されている。工場では慢性的な人員不足が課題となっている。
2. 輸入	(1) 財務省の貿易統計によると、令和8年3月の鶏肉(原料肉)の輸入量は前月から+1.9千トンの48.1千トン、国別ではブラジルが前月+3.1千トンの32.8千トン、タイが▲1.5千トンの14.8千トンとなった。(独)農畜産業振興機構(ALIC)によると今後の見通しは、輸入量は4月は51.5千トン(前年比108.0%)、5月は54.3千トン(同111.8%)と4月5月ともに増加する予測である。要因としては、「輸入量は、前年のブラジル産の輸入量がブラジル国内及び他国向けの需要の高まりによる価格上昇により低水準であったことや現地での生産も堅調であったこと等から、4月はかなりの程度、5月はかなり大きく、いずれも前年同月を上回ると予測する。なお、3カ月平均でも、前年同期をかなり大きく上回ると予測する。」とされている。 (2) 令和8年3月の鶏肉調整品の輸入量は前月から+3.8千トンの44.1千トン、国別では中国が+0.5千トンの15.9千トン、タイが+3.3千トンの27.3千トンとなった。 (3) ㈱食品産業新聞社発行の畜産日報によると、3月の輸入鶏肉(モモ肉)の価格はブラジル産で730円/kgから750円/kg(前年465円/kg)、タイ産が730円/kg中心(同480円/kg)となっている。要因としては「輸入品は市中ひっ迫状態が続いており、相場も上昇したまま高止まりしている。中東情勢などで為替動向が不透明にあるなか、しばらくは高値水準を維持するものとみられる。」と報告されている。
1. 家計消費	(1) 総務省統計局発表の家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)によると、令和8年3月の生鮮肉消費(購入)は数量4,463g(前年比102.2%)、金額7,166円(同104.8%)と、数量・金額ともに前年を上回った。鶏肉は数量1,632g(同98.9%)・金額1,808円(同105.2%)・単価110.78円/100g(前年同月差+6.6円)と数量は前年を下回ったものの、金額・単価はともに前年を上回った。牛肉と豚肉は数量・金額ともに前年を上回った。
2. 量販・卸	(1) 一般社団法人全国スーパーマーケット協会の販売統計調査によると、令和8年3月の食品売上高は全店ベースで前年比101.7%と前年を上回り、生鮮3部門の売上高は全店ベースで同101.2%、既存店ベースは同99.5%。畜産部門の売上高は約1,309億円で全店ベース同104.5%、既存店ベース同102.6%となった。また同社が取りまとめたスーパーマーケット景気動向調査によると、「引き続き、価格上昇を背景に豚肉・鶏肉など値頃商材への需要シフトが継続している。大容量パックや価格訴求商品も引き続き支持された。牛肉は輸入牛が相場高の影響で低調が続くも、国産牛や和牛は販促効果もあり回復傾向もみられた。小間切れや切落しなど値頃商品の動きに加え、週末には焼肉用やステーキ用商品が売上に寄与した。豚肉は、切落しや生姜焼き用など日常使いの商品が堅調で、しゃぶしゃぶ用も販促効果により好調に推移した。鶏肉は相場高と一部の品不足が続く中でも、モモ・ムネなど定番部位に加え、味付け商品や冷凍品が売上を牽引した。加工肉はハム・ベーコン・ソーセージ類など定番商材が伸び悩んだ。」と報告されている。
3. 業務・加工筋	(1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによると令和8年3月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比101.4%の4.5千トンとなった。うち国内品は同93.6%の3.5千トン、輸入品については同141.1%の1.1千トンと輸入品は前年を上回ったものの、国内品は前年を下回る結果となった。
1. 令和8年3月	(1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)の3月末時点推定期末在庫では国産品37.8千トン(前年比146.8%)、輸入品114.6千トン(同87.3%)、合計で152.5千トン(同97.1%)となった。
2. 見通し	(1) (独)農畜産業振興機構(ALIC)が発表した鶏肉需給表では、3月の出回り量は国産品146.4千トン(前年比100.3%)、輸入品47.6千トン(同94.6%)、合計194千トン(同98.9%)となり、前年からは国産品の出回り量は増加したものの、輸入品の出回り量は減少した。今後3月以降の見通しは、「出回り量は、4月はわずかに上回る一方、5月は前年同月並みと予測する。期末在庫は、4月、5月ともに前年同月をやや下回ると予測する。なお、過去5カ年の同月平均との比較でも、4月、5月ともにやや下回る(4月:5.0%減、5月:4.6%減)と予測する。」とされている。
1. 令和8年4月動向	(1) 令和8年4月の月平均相場は、モモ肉831円/kg(前月差+1円)・ムネ肉490円/kg(同▲18円)正肉合計で1,321円/2kgと前月差▲17円、前年同月差+78円となった。(独)農畜産業振興機構(ALIC)によると、「ゴールデンウィークを控え、国産生鮮モモに引合いがみられるが、大口のスポットなどには対応し切れない状況だ。依然として輸入品が高止まりするなか、国産モモにシフトする動きもあり、相場を下支えている面もあるようだ。一方で、課題となっているのがムネで、相場よりだいぶ安い投げ物が出回るなど、各社、価格対応で何とかフレッシュで捌いている状況。輸入現物の唱え値は相変わらず高値を維持している。ブラジルの輸入量が回復傾向にあるとはいえ、円安や中東情勢の不透明感などを勘案すると、下げに向かうにはもう少し時間を要するものとみられる。」と報告されている。
2. 見通し	(1) (一社)日本食鳥協会による生産・処理動向調査では、4月の国内生産は処理羽数・処理重量のいずれも前年同月比で減少見込みとなっている。背景には、北海道での災害、大腸菌症・EC感染症による処分羽数増加、ニュージーランドからの雛の入荷遅延など複数要因が挙げられる。また、中東情勢の緊迫化と155~160円水準の円安継続により、輸入チキンは過去最高値圏で推移してきた。こうしたなか、直近では原料コスト高騰の影響を受け、惣菜および外食用途で国産チキンへのシフトが進んでいる。量販店でも国産中心の売場構成へと変更される動きがあり、国産相場は引き続き高値圏にある。ムネ肉については、一部で輸入品の流通が見込まれるものの、国内相場は高止まりが続く見通しだ。一方、惣菜部門では価格訴求型商品の開発において、高騰する輸入肉の代替として国産ムネ肉の活用が進んでいる。また、包材やインク不足といった供給面での課題も注視が必要である。以上の要因を鑑み、5月の相場見通しは、モモ肉が830円/kg前後、ムネ肉が490円/kg前後での推移を予測する。 (2) 令和7年シーズンの国内養鶏場・家さん農場における鳥インフルエンザは、5月13日(水)時点で24事例確認されている(採卵鶏17事例、肉用鶏4、うずら1、あひる1、肉用種鶏1の事例)。

実績											
生産状況 単位:千羽、千トン、%											
	R7年累計(推計)		R8年3月実績(推計)		R8年4月計画		R8年5月計画		R8年6月計画		
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	
入雛羽数	805,066	101.4%	63,182	99.5%							
処理羽数	763,029	101.6%	64,813	98.0%	62,976	95.7%	63,818	95.1%	61,730	99.1%	
処理重量	2,299.0	101.1%	199.9	100.7%	190.6	95.3%	190.4	96.2%	185.7	98.9%	
※参考資料:㈱全国食鳥新聞社発行「PMNJ」											
輸入動向 単位:千トン、%											
品名	鶏肉			調製品			合計			比率	
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品
R6年累計	639.2	584.9	109.3	503.2	478.0	105.3	1,142.4	1,062.9	107.5	56.0	44.0
R7年累計	591.5	639.2	92.5	529.8	503.2	105.3	1,121.3	1,142.4	98.2	52.8	47.2
R7年11月	43.1	52.0	82.9	47.3	46.2	102.4	90.4	98.2	92.1	47.7	52.3
R7年12月	45.4	49.9	90.8	50.5	45.6	110.8	95.9	95.5	100.4	47.3	52.7
R8年1月	46.8	52.3	89.5	41.7	38.6	108.0	88.5	90.9	97.4	52.9	47.1
R8年2月	46.2	47.7	96.9	40.3	33.8	119.3	86.5	81.5	106.2	53.4	46.6
R8年3月	48.1	42.3	113.7	44.1	43.5	101.3	92.2	85.8	107.4	52.2	47.8
※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」											
鶏肉の消費動向 単位:グラム、円、%						相場(年別・暦年) 単位:円					
履歴	数量			金額							
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比				モモ肉	ムネ肉
R6年平均	1,552	1,495	103.8	1,586	1,547	102.5				595	282
R7年平均	1,555	1,552	100.2	1,682	1,586	106.0				585	243
R7年11月	1,630	1,629	100.1	1,789	1,586	112.8				614	269
R7年12月	1,833	1,801	101.8	2,112	1,993	106.0				641	313
R8年1月	1,566	1,563	100.2	1,796	1,650	108.8				662	348
R8年2月	1,484	1,499	99.0	1,688	1,601	105.4				730	395
R8年3月	1,632	1,650	98.9	1,808	1,719	105.2				655	369
R7年										774	500
※参考資料:総務省統計局HP「家計調査報告(全国・二人以上の世帯1世帯あたり)」											
在庫状況(推定) 単位:千トン、%											
履歴	国産			輸入品			合計				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
R7年11月	35.2	30.8	114.4	121.6	139.3	87.3	156.8	170.1	92.2		
R7年12月	36.4	29.6	123.0	111.7	134.9	82.7	148.0	164.5	90.0		
R8年1月	36.8	26.3	140.2	112.2	139.2	80.6	149.0	165.4	90.1		
R8年2月	37.1	25.7	144.1	114.1	139.2	82.0	151.2	164.9	91.7		
R8年3月	37.8	25.8	146.8	114.6	131.2	87.3	152.5	157.0	97.1		
※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」											
出回り量(推定) 単位:千トン、%											
履歴	国産			輸入品			合計				
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
R6年累計	1,721.2	1,689.0	101.9	619.9	606.3	102.2	2,341.1	2,295.4	102.0		
R7年累計	1,725.4	1,721.2	100.2	614.8	619.9	99.2	2,340.2	2,341.1	100.0		
R7年11月	142.2	145.7	97.6	51.3	53.8	95.5	193.5	199.4	97.0		
R7年12月	154.6	155.6	99.3	55.3	54.3	101.9	209.9	209.9	100.0		
R8年1月	144.3	142.0	101.6	46.3	48.1	96.2	190.6	190.1	100.3		
R8年2月	139.2	136.8	101.8	44.3	47.6	93.1	183.6	184.4	99.5		
R8年3月	146.4	146.0	100.3	47.6	50.3	94.6	194.0	196.3	98.9		
※参考資料:(独)農畜産業振興機構「鶏肉需給表」											
相場(月別) 単位:円、%											
品名	モモ肉			ムネ肉			正肉合計				
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比		
R5年度平均	700	702	99.7	384	371	103.5	1,084	1,073	101.0		
R6年平均	655	730	89.7	369	395	93.4	1,024	1,125	91.0		
R7年平均	774	655	118.2	500	369	135.5	1,274	1,024	124.4		
R8年1月	829	745	111.3	538	403	133.5	1,367	1,148	119.1		
R8年2月	830	744	111.6	522	394	132.5	1,352	1,138	118.8		
R8年3月	830	740	112.2	508	392	129.6	1,338	1,132	118.2		
R8年4月	831	799	104.0	490	444	110.4	1,321	1,243	106.3		
R8年5月	(830)	842	98.6	(490)	497	98.6	(1,320)	1,339	98.6		
R8年6月	(825)	832	99.2	(485)	530	91.5	(1,310)	1,362	96.2		
※()は見通し											